

2021年11月19日
東日本旅客鉄道株式会社
盛岡支社

「S L 銀河」の運行終了について

観光面からの復興支援と地域の活性化を目指し、2014年4月に釜石線で運行を開始した「S L 銀河」は、旅客車（キハ141系）の老朽化に伴い、2023年春をもって運行を終了することとなりました。

運行終了まで引き続き「S L 銀河」を活用した様々なイベントを計画し盛り上げてまいります。また運行終了後につきましても、新たな観光列車の運行に向けて検討を進めるとともに、地域のみなさまと一緒に観光振興に取り組んでまいります。

1 最終運行時期

2023年春

2 今後の運行予定

・2021年は12月5日までの土曜日、日曜日に運行します。

（土曜日は花巻～釜石間、日曜日は釜石～花巻間の運行）

・2022年は春から初冬まで、2023年は春のみの運行を予定しています。

※詳細は決まり次第お知らせします。また運行予定は変更となる場合があります。

【参考】「S L 銀河」について

宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を代表的なテーマとして列車全体をプロデュースしており、宮沢賢治の世界観や空気感、生きた時代を共有することで東北の「文化・自然・風景」を感じていただける車内空間になっております。



【S L 銀河】



【旅客車車内】

（1）使用車両について

①機関車

C58-239号機は1972年まで山田線・釜石線・大船渡線を中心に運行し、その後、岩手県営運動公園で展示保存されていたものを復元した車両です。

②旅客車

「S L 銀河」に使用している旅客車（キハ141系車両）はJR北海道で50系客車を改造した車両を譲渡いただき改造した車両です。急勾配のある釜石線でS Lの運転ができるようにエンジン付きの旅客車で、機関車との協調運転を行っています。

（2）これまでの歩み

2014年4月12日の運行開始以来、主に春から初冬にかけ土日を中心に釜石線花巻駅～釜石駅間で運転を行い、現在までに約57,000人のお客さまにご乗車いただきました。